

# 令和4年度シラバス

教科	科目	単位数	履修学年・クラス
数学	数学A	2	2-1

## 1. 学習の到達目標

数学Ⅰの図形と計量の復習と、場合の数と確率、整数の性質及び図形の性質について学ぶ。場合の数と確率の様に、身近な事象において使われていることが多い単元であるので、社会において様々な形で数学が活かされている事を認識させ、その内容をしっかりと理解し、問題解決できる能力を養いたい。また、数学の問題を論理的に考えることで、日常においても論理的に考え、判断できる力を身につけ、人権問題における差別のない心を育てたい。

## 2. 学習の計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
1 学 期	『最新 数学Ⅰ』の復習 三角比の定理と求積法 三角比の空間図形への応用  第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数 1. 集合～4. 積の法則 5. 順列～7. 組合	<ul style="list-style-type: none"> <li>三角比の諸定理を復習し、様々な問題への応用力をつける。</li> <li>数学的な集合の概念の理解を図り、身近で応用されている事象に気づかせる。</li> <li>順列の計算方法を理解する。</li> <li>組み合わせの計算方法を理解する。また、実生活での例を挙げ親しみやすいように指導する。</li> </ul>
2 学 期	第2節 確率 8. ～15. 確率の意味～条件付き確率  第2章 図形の性質 第1節 平面図形 1. ～11. 角の二等分線 ～線分の長さで作図	<ul style="list-style-type: none"> <li>確率の基本的な意味を理解する。</li> <li>文章問題を解くことにより、応用力を身につける。また、社会に目を向け、事象を論理的に考えることにより、人権問題に対する意識を高める。</li> <li>中学校までの図形に関する基礎・基本の復習と高校数学への応用を理解する。</li> </ul>
3 学 期	第2節 空間図形 12. ～13. 空間における直線と平面、多面体 第3章 整数の性質 1. ～10. 約数と倍数～n進法	<ul style="list-style-type: none"> <li>空間図形に関する基礎・基本の復習と高校数学への応用を理解する。</li> <li>整数の性質を明確な定義のもと整理できるようにする。また、整数の問題に対して、基本的な概念や考え方を身につける。</li> <li>生徒の理解度の確認。</li> </ul>

## 3. 評価方法・評価の観点

評価方法	考査による評価、提出物・授業態度等による総合評価。
------	---------------------------

評価の観点	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
評価の内容	数学の論理や体系に関心を持つとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それを事象の考察に積極的に活用しようとする。	数学についての基本的な概念や原理・法則などの習得や活用を通して、数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学的にとらえて論理的、発展的に考察する。	事象を数学的に考察し、表現・処理する仕方や議論の方法を身につけ、問題を手際よく解決する。	数学における基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、知識を身に付けている。

## 4. 使用教科書・副教材

使用教科書	改訂版 最新 数学Ⅰ・A (数研出版)
副教材	改訂版 パラレルノートⅠ・A (数研出版)